

医療現場での感染予防



インフルエンザ感染症対策

ご使用場所

- ・医療現場での院内感染予防
- ・医療用マスク（サージカルマスク）
- ・微生物や細菌などの分析、研究機関
- ・重度な花粉敏感症の方の花粉対策
- ・新型インフルエンザ感染が予想される場所

NIOSH規格 **N99**

EN規格 CE EN149

2001FFP3 NR

性能達成

特長

- ・高品質の特殊活性炭素繊維を使用しています。
- ・粉じんや細菌を99%以上遮断して体内への侵入を防ぎます。
- ・新型ウイルスなどの感染性病原菌を逃さずキャッチします。
- ・立体構造により顔にピッタリフィットします。



正面



内面



◇仕様

- ・サイズ：大人用
- ・標準色：白
- ・耳かけタイプ

販売単位

- ・30枚 / 箱 × 20箱 = 600枚 / 梱
- 小売り販売
- ・30枚入り箱
- ・5枚、2枚セット

※EN規格は、欧州のEU統合により新しく制定された欧州統一規格です。
米国NIOSH規格N95マスクと同等性能【EN149 FFP2】に適合しています。
実性能では、最も高性能な【EN149 FFP3】規格を達成しています。

◆マスク性能 CE EN149:2001 FFP2 NR

細菌ろ過率（BFE）	99.9 %	
微粒子ろ過率（PFE）	99.3 %	
空気交換圧（ΔP）	9.16mmH ₂ O/cm ²	
血液不浸透性（FR）	120mmHg - none	
抗菌性テスト	黄色ブドウ菌	99.9 %
	肺炎かん菌	99.9 %
	大腸菌	99.9 %

ご注文

オンラインショップ：<http://so-en.shop-pro.jp/>

総販売元

so-en
think earth

株式会社ソーエン

〒370-0018
群馬県高崎市新保町1665-1反町ビル

TEL 027-352-4857 FAX 027-352-4875
URL <http://so-en.net/> email:info@so-en.net

活性炭素繊維マスク【Cタイプ】

性能試験表

項目	結果	試験方法
1.細菌ろ過率(BFE) 黄色ブドウ球菌	1 > 99.9% 2 > 99.9% 3 99.8% 4 > 99.9% 5 > 99.9%	ASTM F2101-2007 ATCC 6538
2.微粒子ろ過率(PFE) (0.26μm、NaCl)	99.30%	BS EN149:2001 7.9.2 TSI Inc., Model 8130 フローレート:95.0Liter/min 質量基準中央径:0.26μm、NaCl
3.ろ過率(E)	E=99.802%	BS EN149:2001 7.9.2 TSI Inc., Model 8130
4.呼吸抵抗(P)	18.8mmH ₂ O/cm ²	質量基準中央径:0.26μm、NaCl フィルターフローレート:95±0.2Liter/min
5.空気交換圧(P)	9.16mmH ₂ O/cm ²	MIL-36945C 4.4.1.2
6.血液不浸透性(FR) :120mmHg	1~10 none	ASTM F1862-2000
7.抗菌性黄色ブドウ球菌	99.9 %	AATCC 100-1999
8.抗菌性肺炎かん菌	99.9 %	
9.抗菌性大腸菌	99.9 %	
10.ベンゼン吸着能力	11.1wt%	濃度=20g/m ³ 、温度=25、速度=0.3m/s
11.トルエン吸着活性	11.6wt%	ASTM D-3467-93参照
12.四塩化炭素吸着能力	18.8wt%	濃度=250mg/L、温度=25、速度=10m/min ASTM D-3467-93参照
13.カドミウム	N.D.	IEC 62321/2nd CDV(111/95/CDV)
14.鉛	N.D.	13.カドニウムの規定はICP-AESに基づく
15.水銀	N.D.	14.鉛の規定はICP-AESに基づく
16.Cr(VI)	N.D.	15.水銀の規定はICP-AESに基づく
17.PBB全体	N.D.	16.Cr(VI)の規定は紫外/可視分光測定に基づく
18.PBDE(原子1~9)	N.D.	17~19.PBBとPBDEの規定はGC/MSに基づく
19.PBDE(原子1~10)	N.D.	

【注記】

- a. 項目1.細菌濾過率(BFE)は、細菌を含む平均約3μmの粒子が濾過された率を示します。
- b. 項目2.微粒子濾過率(PFE)は、固体微粒子の濾過された率を示します。
- c. 項目5.空気交換圧(ΔP)は、呼吸のしやすさを示します。
- d. 項目6.血液不浸透性(FR)は、液体(血液)が飛散した場合の程度の圧力に耐えるかを示します。
- e. 項目3及び4の結果は工業技術研究院発行の報告書に基づきます。
- f. 項目1、2及び項目5、6の結果は(財)紡織産業総合研究所発行の報告書に基づきます。
- g. 項目7~9の結果は全国公証検験股份有限公司発行の報告書に基づきます。
- h. 項目10~12の結果は工業技術研究院発行の報告書に基づきます。
- i. 項目13~19の結果は台湾検験科技股份有限公司発行の報告書に基づきます。